

答 申 書

～留辺薬自治区内事業の今後のあり方について～

令和3年11月

留辺薬まちづくり協議会

令和3年11月1日

北見市長 辻 直 孝 様

留辺蘂まちづくり協議会
会長 畠 山 勝

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

令和3年8月4日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、
慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

【答申にあたって】

～留辺蘂自治区の現状～

少子高齢化の影響により全国的に人口が減少傾向にある中、留辺蘂自治区においては人口減少とともに高齢化率の著しい上昇が課題となっており、他の自治区と比較しても、その状況は顕著に現れています。

留辺蘂自治区の人口は、平成18年3月末では8,586人でしたが、令和3年3月末では5,686人となっており、15年間で2,900人の減少となっております。

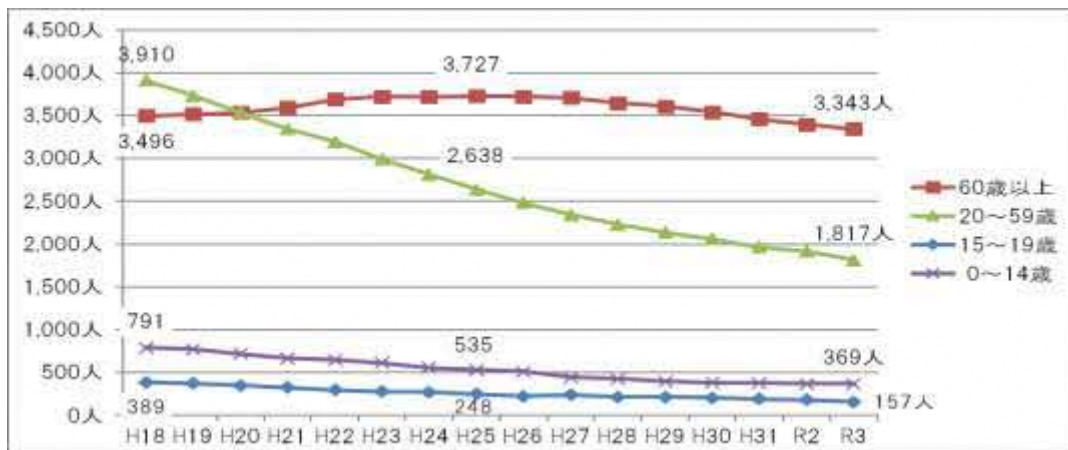
人口減少の要因としては、転居・転出による社会減や出生率の低下、死亡者の増加等による自然減が挙げられますが、社会減の中でも若年層の流出が大きな課題です。

高校や大学等の卒業後に留辺蘂自治区内で就職する意思がありながら、地元企業が少ないため、やむを得ず自治区外の企業へ就職せざるを得ないことも人口流出に拍車をかけており、このことがUJ1ターンしづらい理由にも繋がっています。

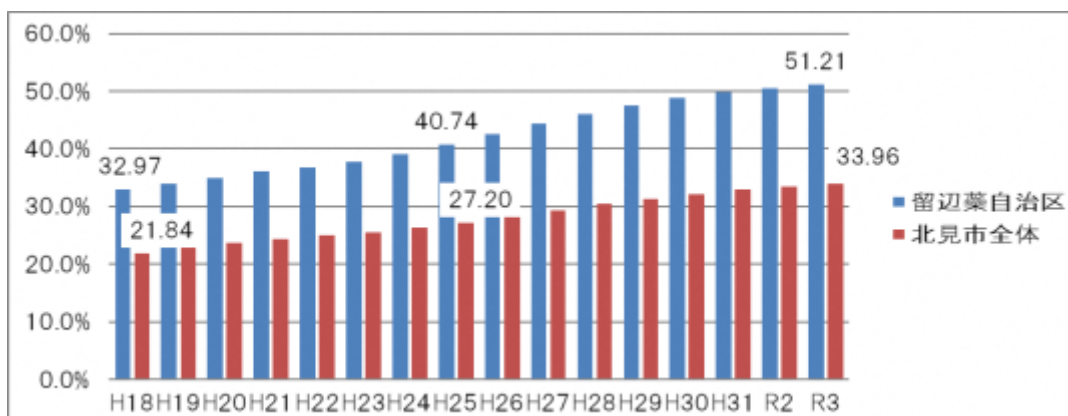
また、留辺蘂自治区の高齢化率は、平成18年3月末では32.97%（市全体では、21.84%）でしたが、令和3年3月末では51.21%（市全体では、33.96%）となっており、北見市内においても突出して高い状況となっております。

その他、「まちづくり」に対する地域住民の想いとしては、安全で安心して暮らしていくことを望んでおり、市の施策として、ハード事業だけでなくソフト事業の充実を図る環境整備が求められているところです。

＜留辺蘂自治区の世代別人口の推移＞



＜留辺蘂自治区の高齢化率（65歳以上の割合）の推移＞



このような状況の中で、令和3年8月4日に北見市長から、第4次実施計画策定に向けての諮問（「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」）を受けたことに伴い、これまでの協議内容も踏まえながら、様々な地域課題の解決に向け、新規事業のほか、今後の留辺蘂自治区の方針などについて議論を重ねてきました。

○取り組むべき地域課題

- ・総合的な福祉事業対策の充実
- ・人口減少対策と若年人口の増加及び雇用対策の充実
- ・教育施策の充実
- ・子育て支援対策の充実
- ・将来を見据えた公共施設のあり方の検討
- ・空き家、空き店舗、空き地対策
- ・地域交通の確保対策
- ・災害対応の地域連携と防災対策の充実
- ・第一次産業の育成と新たな製品の創出
- ・観光事業対策の充実

＜視察研修風景(八方台スキー場)＞



いずれの課題も大変重要なものであり、優先順位を付け難いものばかりではありますが、各課題に対応する実施計画の新規要望事業（10事業）について、必要性及び有効性等を検証し、集約しました。

第2期北見市総合計画の「基本目標」と「留辺蘂自治区のめざす方向性と施策展開」に沿った上で、留辺蘂自治区として優先的に必要とする事業等を明確に位置づけ、その内容及び必要性について次のとおりお答えいたします。

■第2期北見市総合計画

「基本目標」

1. 健康で安心して暮らせるまちづくり（健康・福祉）
2. 豊かな心と文化を育むまちづくり（教育・文化）
3. にぎわいと活力あふれるまちづくり（産業・観光）
4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり（環境・生活基盤）
5. 市民による自主自立のまちづくり（地域・自治）

「留辺蘂自治区のめざす方向性と施策展開」

～木・湯・人のぬくもりを感じるまち～

1. 豊かな資源を活かした活力ある林産業と農業の振興
2. 多彩な観光資源を活用した観光の振興
3. 地域コミュニティを活かしたぬくもりある安全安心なまちづくり

【留辺蘂自治区内事業の概要】

基本目標 1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

留辺蘂自治区では高齢化率が50%を超えており、高齢者が今後健康でいきいきとした生活を送るためには、住民自らが「健康寿命」の延伸について意識するとともに、地域の自主活動事業と行政の結びつきを強化する取り組みが必要となります。

また、介護福祉士やヘルパー等の人員確保対策として、留辺蘂高校や市内専門学校等の生徒に対し、地元で就職していただけるような啓発活動を行っていくことも重要です。

あわせて、子育てしやすい環境整備が不可欠になっていることから、市長公約でもある保育園や認定子ども園等の環境充実や運営支援、きめ細やかな子育て環境のサポート等についても、具体的な施策がとられることを要望します。

基本目標 2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

留辺蘂自治区では、小中学校の児童・生徒数が減少傾向にあります。今後の学校運営への支援体制を確立するとともに、令和2年4月に設立した「おんねゆ学園」の通学路や公園の整備など、子どもたちが安心して通学できる環境整備が図られることを要望します。

また、老朽化が進んでいる公民館や体育館等の公共施設について、生涯学習の充実の観点から整備を進めることも必要と考えています。

【留辺蘂自治区内の最優先事業】

◎留辺蘂町体育館整備事業

昭和55年に開館した留辺蘂町体育館は、幅広い世代に利用されていますが、施設全体の老朽化が著しく、また、災害時等には地域の避難所としての役割も備えていることから、施設の耐震診断を実施し、住民の安心安全な生活を確保するため、事業の実施を強く要望します。

◎八方台森林公園整備事業

公園内の「休養施設ぱるむ」や「バーベキューハウス」などの施設は、平成9年の開設以降20年以上が経過し、施設全体の老朽化が著しい状況です。

特に「休養施設ぱるむ」の屋根や外壁は、雨水浸水や野鳥による穿孔箇所が広がっているため、施設の長寿命化に向けた改修を強く要望します。

<休養施設ぱるむ>



◎留辺蘂町八方台スキー場整備事業

平成2年のオープン以来、索道機のワイヤーロープなどの部分的修繕は行っているものの、供用開始後31年が経過し老朽化が進んでいるため、利用者が安全に利用できるよう索道機設備等の計画的な更新を強く要望します。

◎留辺蘂図書館空調機器更新事業

平成5年の図書館開館時より使用している冷房機器ですが、令和2年7月に一般開架コーナーの一部、8月に児童書コーナーの一部が故障し稼働しておりません。

コントロールパネル・基盤等の故障が原因とみられますが、すでに設置から28年が経過し部品交換などの修繕では対応できないことから、長時間滞在する利用者に安全で快適な空間を提供するために機器の更新を強く要望します。

◎移動図書館車更新事業

平成7年12月に導入した移動図書館車は、走行距離は車両更新の規定に達していないものの、導入後25年が経過していることに加え、常に5t以上の荷重がかかっているため、車体を支えるスプリング系の劣化が進んでいます。今後も安全に運行していくためには車両の更新が必要であり、事業の実施を強く要望します。

【継続して取り組むべき事業】

○公園安全対策事業

基本目標3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

留辺蘂自治区の人口減少対策にあたっては、若年人口を増加させることと流出に歯止めを掛けることが必要ですが、そのためには留辺蘂自治区の魅力発信とともに、「はたらく場所」の確保が重要な課題となっているところです。

基幹産業である農林業及び商工業の振興は、地域の発展にとって必要不可欠ですが、担い手・人手不足が深刻な課題となっており、解消に向けた取り組みが早急に求められています。

地域の特産品である「白花豆」を活用した製品については、引き続き情報発信をしていくとともに、新たな特産品や付加価値のある特産品を創出していくことが必要です。また、留辺蘂自治区内には、新たな木質建築材（CLT）を製造できる工場が道内で唯一あることから、CLTの利用を普及促進することにより、持続可能な森林資源の有効な利活用を進めるべきと考えています。

観光分野においては、コロナ禍の中で国内をはじめ、インバウンドによる観光客の減少により、観光入込客数が大幅に減少するなど、留辺蘂自治区内の観光業に大きな影響を与えております。このため、留辺蘂自治区の集客の目玉となっている道の駅おんねゆ温泉の「山の水族館（北の大地の水族館）」や、おんねゆ温泉郷と周辺の観光スポットとの結びつきを強めるなど、さらなる施策の展開を要望します。

【継続して取り組むべき事業】

○水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）

○畑地かんがい推進事業（技術普及支援）

○畑地かんがい推進事業（自立支援）

○林道施設補修事業

○道の駅おんねゆ温泉運営管理費

（山の水族館10周年記念事業）

基本目標4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

地域交通体系の見直しについては、留辺蘂自治区においても大変重要な地域課題となっておりますが、利用者の減少や財政的支援の問題など、地域交通を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。他方で、自家用車などを持たない地域住民、特に高齢者の方々にとっては、地域交通を維持していくことが必要不可欠です。

留辺蘂地域において、12月から「コミュニティバス」の実証運行が予定されており、今後においても、本格運行に向けた地域交通体系の確立が望まれます。

また、留辺蘂自治区内に勤めている方の多くが、北見自治区からの通勤者となっておりますことから、空き家情報や空き店舗の発信と併せて、リフォーム助成や家賃の一部助成などについて、検討が必要です。

【留辺蘂自治区内の最優先事業】

◎留辺蘂町葬斎場火葬炉等機器更新事業

昭和60年の建設時から使用している計装機器は経年劣化により更新が必要であり、火葬炉耐火物の積み替えは10年ごとに実施する必要があることから、施設の長寿命化を図るためにも、機器の更新を強く要望します。

＜留辺蘂町葬祭場＞



◎留辺蘂町20号線道路整備事業

北海道が施工予定のペンケビバウシ川の河川改修に合わせて本路線を補修し、長年にわたり地域住民から要望のあった大型農業用車両の安全な通行と生活環境の改善を図るべく、事業の実施を強く要望します。

◎留辺蘂町栄町道路整備事業

本路線は、留辺蘂町栄町地区で計画されている障がい者支援施設にアクセスする道路として整備する必要があり、地域住民からの要望もことから、事業の実施を強く要望します。

◎道路パトロール車更新事業

留辺蘂自治区における道路パトロール車については、大雨による災害時や除雪対応に必要な車両であることから、車両の更新を強く要望します。

【継続して取り組むべき事業】

○留辺蘂町あさひ保育所2号通り道路整備事業

○特定市道整備事業

○オーバーレイ舗装整備事業

○LED灯切替事業

○河川改修事業

○留辺蘂自治区河川土砂上げ事業

○市営住宅改善事業（旭南・上町団地）

○市営住宅建替事業（公園団地）

基本目標5. 市民による自主自立のまちづくり

留辺蘂自治区の市民サービスや防災の拠点となっている留辺蘂総合支所庁舎については、建設から50年以上経過し老朽化しており、耐震診断の結果、耐震補強が必要な建物であることから、早急に耐震改修等が行われる必要があると考えます。

また、老朽化が著しい公共施設の複合化・多機能化についても、最適な再配置が図られるよう、地域住民との協議を踏まえ、早期に行われることを要望します。

【留辺蘂自治区内の最優先事業】

◎住民センター改修工事(西区住民センター)

平成8年に建設された西区住民センターは、地域コミュニティの拠点として整備してきましたが、経年劣化による老朽化が進んでおり、玄関ポーチ、屋根、外壁など、利用者が安全に利用できるよう整備する必要があることから、事業の実施を強く要望します。

＜西区住民センター＞



【継続して取り組むべき事業】

○留辺蘂まちづくりパワー支援補助金

【今後の留辺蘂自治区のあり方について（まとめ）】

当協議会では、地域住民、特に若い世代が住み続けたいと思える「ふるさと留辺蘂」をいかにして構築していくのかを中心に協議を進めてきたところであり、「留辺蘂自治区内事業の概要」に記載した各事業についても、そのような視点から提案させていただくものです。

同様に、下記の地域課題につきましても、今後早急に具体的な方向性を打ち出していきたいと考えておりますことから、上記の自治区内事業とあわせて提案させていただきます。

【早急に対応が必要となる重要な地域課題】

- 1 建設から 50 年以上経過している留辺蘂総合支所庁舎については、ハザードマップにおいて計画規模降雨（100 年に 1 回程度）の浸水地域となっていることから、総合支所の設置場所を含め、早急に耐震改修等について検討を進めること。
- 2 留辺蘂自治区の高齢者の増加に伴い、高齢者を含めた地域住民の足を確保するため、留辺蘂地域において、12 月から「コミュニティバス」の実証運行が予定されているが、今後においては、温根湯地域でも循環バスの導入など、新たな交通体系の実現について早急に検討を進めること。
- 3 温根湯地域の昭和 56 年以前に建設された公共施設は、老朽化が進んでいることから、今後も温根湯地域の公共施設の再配置の検討を進めていくが、温根湯温泉保育園については、子どもたちが安全に通園できる施設となるように、保育園の設置場所を含めた改築について、早急に検討を進めること。
- 4 移住・定住施策については、留辺蘂自治区内に居住する魅力をつくるため、空き家や空き店舗などの情報の発信と併せて、リフォーム助成や家賃の一部助成などについても、今後検討を進めること。
- 5 留辺蘂住民交流センターがオープンし、本年度は駐車場などの外構工事のほか、隣接する仲よし公園の遊具の更新工事が進んでいるが、同公園にある蒸気機関車は経年劣化により美観を損ねている状況にある。
この D51 型の蒸気機関車は、通称「デゴイチ」と呼ばれ、現存する蒸気機関車としては開拓・交通の大変貴重な歴史的価値があるものであり、国道 39 号沿線のシンボリックな施設であることから、SL 修復整備事業については、周辺の整備とあわせて、早急に事業を進めること。

将来の「まちづくり」を議論するにあたっては、20 年後、30 年後の「将来の留辺蘂自治区の姿」を常に念頭に置き、住民が希望をもって住み続けることができる地域を維持するための方策を考えていかなければなりません。

このため、地域の声や意見を確実な方法で吸い上げ、行政運営に反映していくことは、まちづくりの基本であると考えています。特に若い世代の方々に行政運営へ参画してもらうことが、今後の「まちづくり」において大きな力となりますので、行政として積極的な対話やふれあいの機会をつくっていただくことを期待します。

以上、これまで協議してきた内容は、地域の団体の代表等である協議会委員からの貴重な意見や提案です。市長におかれましては、第 4 次実施計画事業等における留辺蘂自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますよう強く要望します。

留辺薬まちづくり協議会における協議経過

協議回数	開催日	場 所	内 容
1	8月4日（水） 午前10時	留辺薬総合支所	諮問 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
2	9月30日（木） 書面会議	—	議題 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
3	10月14日（水） 午後6時30分	留辺薬町公民館	議題 留辺薬自治区内事業の今後のあり方について

留辺薬自治区要望事業一覧

※網掛けは最優先事業

1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

(3) 支えあう福祉の推進

1	ことぶき会館解体工事	解体工事
2	はあとふるプラザ エレベータ改修	設備改修
3	養護老人ホーム静楽園設備整備事業	厨房系外調機温水コイル更新、食堂空調設備更新など
4	養護老人ホーム静楽園温冷配膳車導入事業	厚労省が示す食品温度管理を達成するため、温度管理機能を備えた配膳車を導入する。
5	養護老人ホーム静楽園急速冷却機導入事業	厚労省が示す食品温度管理を達成するため、急速冷却機（ブラストクーラー）を導入する。

2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

(2) ともに学びあう生涯学習の推進

6	留辺薬町体育館整備事業	築後約40年が経過した施設であり、安全確保と長寿命化のために耐震診断を行う。
7	八方台森林公園整備事業	雨水浸水を解消するための防水塗装工事のほか、毎年増加している野鳥による外壁穿孔を防ぐため、外壁を木造からサイディング化する。
8	留辺薬町八方台スキー場整備事業	索道機常用及び非常用油圧制動ユニットの分解整備及び油圧制動ポンプユニットの更新のほか、スキー場ロッジ屋根、バルコニー改修工事の施工。
9	留辺薬町格技場整備事業	柔道畳更新
10	留辺薬図書館空調機器更新事業	留辺薬図書館空調機器更新
11	移動図書館車更新事業	移動図書館車更新
12	留辺薬図書館外壁タイル補修工事	外壁タイル剥落防止の補修工事

(3) 地域文化を育む文化活動の推進

13	SL修復整備事業	SLの修繕・塗装
14	エゾムラサキツツジ樹木保護研究委託	樹木の保護

3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

(1) 魅力と活力ある産業振興

15	水利施設等保全高度化事業 (担い手育成型)	土地改良事業市負担金 るべしべ地区 明渠排水路L=600m 営農用水施設L=3,370m 営農用水整備事業 営農用水事業アロケーション(合併施工) 設計委託費(単独分)
16	畑地かんがい推進事業(技術 普及支援)	畑地かんがい利用面積(614.6ha)
17	畑地かんがい推進事業(自立 支援)	留辺蘂土地改良区自立支援
18	林道施設補修事業	橋梁補修工事
19	農業振興施設 (花えーる)整備事業	花えーるの屋根外壁塗装
20	おんねゆ温泉花公園施設 花えーる備品更新	調理加工室内の備品が15年経過し、耐用年数を超過しており、故障して利用に支障をきたすことの無いよう計画的に更新する
21	明渠排水路維持補修事業	農業農村整備事業で整備した排水路(普通河川)の土砂上げ作業
22	畑地かんがい推進事業負担金	留辺蘂土地改良区の昭栄ポンプ場事務所開設に対する支援対策

(2) にぎわいと交流の観光振興

23	道の駅おんねゆ温泉運営管理 費(山の水族館10周年記念 事業)	出前水族館(滝つぼ水槽プロジェクションマッピング、インタラクティブ動画、展示パネル製作費、出前水族館会場使用料等) 特別企画展(河川活動経費) 水族館プロモーションビデオ 他水族館連携事業 広告料
24	札幌るべしべ会「ふるさと・ きたみるべしべフェア」開催 事業	札幌のチカホにて留辺蘂の特産品を販売する物産展を開催
25	石北峠園地周辺維持補修事業	階段補修、景観整備
26	滝の湯ポンプ泉源整備事業	滝の湯泉源ポンプ2号井、3号井交換及び分解整備並びに温泉圧送ポンプ交換、流量計取替工事
27	道の駅おんねゆ温泉整備事業	果夢林の館暖房用温水器更新、果夢林の館自動ドア装置取替修繕、果夢林ワールド「木の砂場」木球購入
28	山の水族館整備事業	養生施設改善工事(水槽、換気扇、ドア)

4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

(2) 快適な生活空間の充実

29	普通財産建物解体事業	普通財産として管理する建物の解体撤去
30	留辺薬町葬斎場火葬炉等機器更新事業	電気・計装精密点検及び調査
31	狂犬病予防等業務費	トラック更新
32	留辺薬町葬斎場整備事業費	給油設備改修
33	営農用水整備事業 (市単独給水工事)	非農家及び土地改良事業外の整備事業
34	留辺薬町あさひ保育所2号通り道路整備事業	改良舗装工事 L=131m W=8.00m
35	留辺薬町20号線道路整備事業	
36	留辺薬町栄町道路整備事業	道路設計 L=190m
37	特定市道整備事業	役場西通り 改良舗装工事 L=65m 温根湯学園通り 設計委託 L=152m
38	オーバーレイ舗装整備事業	舗装工事 L=200m
39	LED灯切替事業	LED灯切替工事 8基(2灯付き)
40	道路パトロール車更新事業	道路パトロール車更新
41	公園安全対策事業	仲よし公園・旭南団地児童公園 遊具改築・更新
42	市営住宅改善事業	上町団地(3か所給湯配管・内装工事) 旭南団地(外壁塗装工事)
43	市営住宅建替事業	公園団地3・4号棟(8戸)の建設工事 公園団地3・4号棟(8戸)の外構工事(駐車場・通路等) 公園団地7・8号棟(8戸)の実施設計、地盤調査 公園団地(8棟32戸)の解体工事 事務費

(3) 地域の安全安心の確保

44	河川改修事業	ハナワビバウシ川 改修工事 L=141m
45	留辺薬自治区河川土砂上げ事業	土砂上げ V=330m ³

5. 市民による自主自立のまちづくり

(1) 市民主体の住民自治の推進

46	留辺薬まちづくりパワー支援補助金	安全安心な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対する補助
47	住民センター改修工事	留辺薬西区住民センター改修工事 玄関ポーチ改修 屋根・外壁等改修 非常放送設備更新
48	大和ノーマルセンター玄関ポーチ改修工事	玄関タイルをゴムチップタイルに張替え、スロープに手摺りを設置
49	大和ノーマルセンタートイレ改修工事	和式トイレを洋式化、洋式便器を温水洗浄便座に改修
50	大和ノーマルセンター名称看板設置費	施設名称変更に伴う看板新設費
51	温根湯温泉多目的センター案内掲示板設置費	施設の案内掲示板を設置

(3) 効率的な地域経営の推進

52	総合支所庁舎改修事業	網戸及びエアコンの設置
53	高圧温水洗車機更新事業	高圧温水洗車機の更新

【留辺薬まちづくり協議会委員】

委嘱期間：令和2年6月14日～令和4年6月13日

区分	氏 名
委 員	生 田 将 啓
委 員	石 谷 忠 義
委 員	小 池 信 子
委 員	今 部 幸 江
委 員	坂 口 廣 典
委 員	高 野 智 子
委 員	高 橋 純 子
委 員	武 田 志津子
委 員	長 瀬 順 一
委 員	長 野 美津雄
◎会 長	畠 山 勝
委 員	藤 田 照
委 員	松 浦 千代子
委 員	山 梨 則 子
○副会長	山 久 仁

※五十音順